

1時間耐火構造

鉄骨下地



通気金具
施工

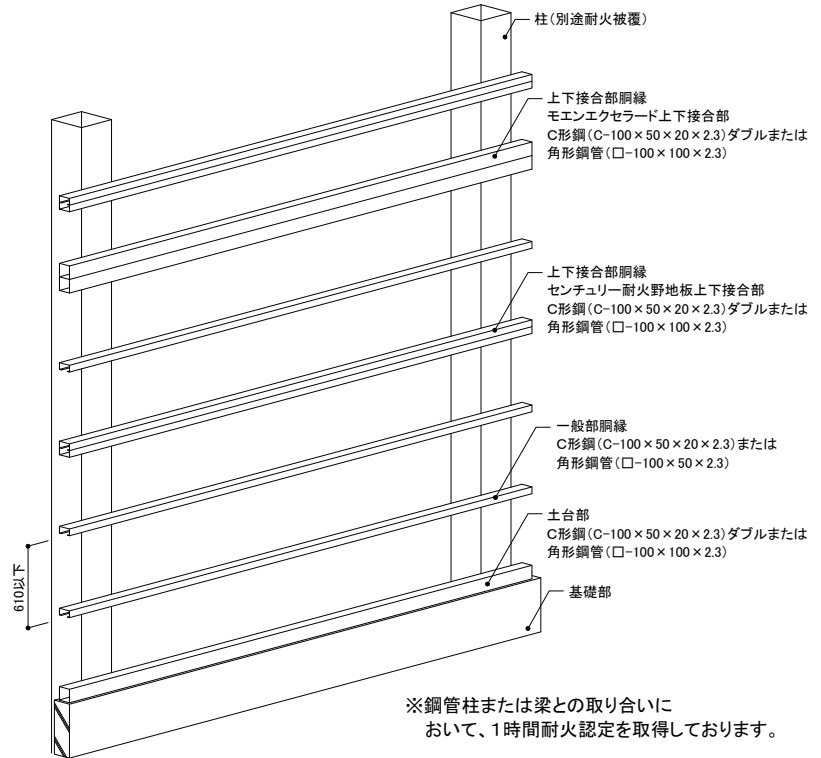
縦張り

モエンエクセラード

1.5尺×10尺

鉄骨下地組基本構成図

- 鉄骨胴縁はC形鋼(C-100×50×20×2.3以上)または角形鋼管(□-100×50×2.3以上)で横胴縁とし、610mm以下の間隔で組んでください。
- モエンは風荷重を受けますので、下地材は設計計算により610mm以下の所定の間隔になるように設定してください。
- モエンエクセラードの上下接合部およびセンチュリー耐火野地板の上下接合部は、C形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)としてください。
- 鉄骨躯体梁にあらかじめ胴縁接合プレートを留め付けておいたものに、不陸を調整しながら鉄骨胴縁を留め付けてください。
- 下地躯体の梁および胴縁接合プレートは別途耐火被覆してください。
- 階高さなど、鉄骨胴縁の上下留め付け間隔が長くとわみが大きくなる場合は、胴縁間隔を狭めたり、耐風梁を入れるなど鉄骨胴縁のたわみ変形を1/200以下に抑えるよう設計してください。



縦張り10尺品

- 屋外側はモエンエクセラード働き長さ(3030mm)ごと、およびセンチュリー耐火野地板(1820mm)ごとに、C形鋼胴縁がダブルまたは角形鋼管胴縁(□-100×100×2.3以上)が必要になります。一般部は610mm以下の間隔にC形鋼胴縁、または角形鋼管胴縁を取り付けてください。

